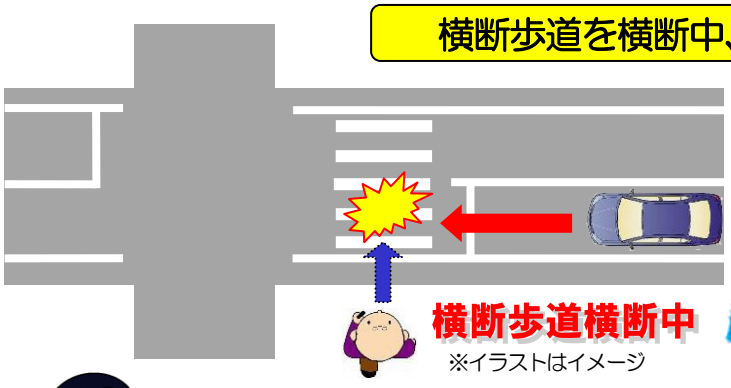
令和　２ 年
１１ 月 １２ 日

ふれあい通信

第２０号

交 通 事 故 現 場 検 証

横断歩道を横断中、右から来た車にはねられる



今年、草津市内の県道で７０歳代の男性が、横断歩道を横断中に、右から走行してきた２０歳代女性の運転する軽四乗用自動車と衝突し、亡くなられました。

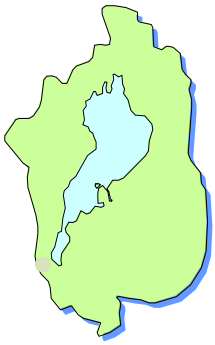
Check　**前方横断歩道上の安全不確認**

「信号機のない横断歩道」一時停止率は21．3％

～前年比4．2ポイント増加も、依然として約8割が止まらない～

JAF(一般社団法人 日本自動車連盟)は今年８月に「信号機のない横断歩道」における歩行者優先についての実態調査を全国で実施しました。

調査は各都道府県２箇所ずつ、信号機が設置されていない横断歩道を通過する車両を対象（9,434 台）に行ったところ、歩行者が渡ろうとしている場面で一時停止した車は 2,014 台（２１．３%）で依然として約８割のクルマが止まらない結果となりました。



滋賀県の信号機のない横断歩道における車の一時停止率

2019年	11．3％
2020年	18．7％

前年よりも停止率は UP

前年よりも停止率は UP しましたが、全国平均よりも低い結果となりました。

滋賀県では 横断歩道利用者ファースト運動 を実施しています。

横断歩道手前には道路標識や道路標示があるので見落とさないようにしましょう！

～横断歩道の指示標示及び規制標識～

横断歩道又は自転車横断帯あり

横断歩道

横断歩道・自転車横断帯

重要 POLICE 【道路交通法第 38 条第1項】横断歩道等における歩行者等の優先

ドライバーと歩行者がお互いに
「思いやる・ゆずり合う」気持ちが必要です！

車両等は、横断歩道等に接近する場合には、横断歩道等を通過する際にその進路の前方を横断しようとする歩行者等がないことが明らかな場合を除き、横断歩道等の直前（停止線の直前）で停止できるような速度で進行しなければならない。この場合において横断歩道等により進路の前方を横断中または横断しようとする歩行者等があるときは、横断歩道等の直前で一時停止し、その通行を妨げないようにしなければならない。

令和２年全国交通安全年間スローガン

スマホより　横断歩道の　僕を見て

オブジェ講習受講者募集！

車の運転を見直してみませんか？

～　あなたの運転を運転技能自動評価システム（Objetオブジェ）で診断　～

総合評価は、A～Eの５段階評価です。

車・運転者の頭・運転者の右足に取り付けた３つのセンサーのデータを計測して棒グラフや折れ線グラフで表示し、危険回避運転行動の達成度を評価します。

自らデータを見ることで安全に対する意識や運転に対する苦手部分を振り返り、自分自身では気づいていない運転習慣やクセを知ることができます。

- 受講対象　６５歳以上の高齢ドライバー
- 受講条件　マイカー使用（任意保険未加入車は不可）、家族同伴か二人一組で参加
- 講習内容　受講者の頭部と右足、車体にセンサーを装着して指定コースを走行し、運転技能を自動診断
- 実施日時
- 実施場所

} 相談のうえ、調整します。

お問い合わせは、下記のふれあいチームまで

特殊詐欺から あなたを守る
「留守番ボタンをポチッと」作戦！

★★在宅時も電話機を留守番電話設定にするだけ★★

○ 詐欺犯人は留守番電話につながると電話を切ります
○ メッセージを聞いて、必要なところにだけ架け直しましょう

Check!

施設の窓口に掲示するなど、必要な方々にご覧いただけるようご協力ください。

滋賀県警察本部交通企画課 高齢者交通安全推進室 ふれあいチーム
TEL 077-522-1231（代表）　Eメール x0022@police.pref.shiga.jp